

DR.REIS

エレベーター遠隔診断システム

Rise above expectations

OTIS



エレベーター遠隔診断システム (Dr.REIS)

エレベーターは "スマートメンテナンス" の時代へ。
Dr.REIS (ドクター・レイス) はエレベーターを停止することなく遠隔点検する「予知・予防・保全」のためのエレベーター遠隔診断システムです。

-  毎月、利用者の少ない時間帯に遠隔制御でエレベーターを自動診断します。エレベーターを停止する定期点検を少なくすることで、ご利用者のご不便を軽減します。
-  毎月 1 回の遠隔点検と定期的な訪問点検を行います。遠隔点検で収集したデータは、トラブルの予知・予防や、訪問点検時のメンテナンスに活用します。
-  各フロアのご利用回数や運転時間、走行距離などのエレベーターのご利用状況をグラフでご報告いたします。
-  エリートサービスとの組み合わせで、遠隔救出やトラブル発生時の情報配信、優先ダイヤルの利用が可能となります。^{※1}



※1 遠隔監視システムと遠隔点検システムの両方を契約いただくと、ワンランク上のサービス「エリートサービス」へ加入することが可能になります(一部機種を除く)。

遠隔点検の導入メリット

-  万が一の故障の時は、発生時刻を 100 分の 1 秒で記録して適切な修理等に活用することで復旧をスピードアップします。
-  技術員が目視で確認できない部分を遠隔で点検し、訪問点検時に技術者がメンテナンスツールを用いて細部の調整を行います。
-  電磁ブレーキの動作状態点検に加え、制動保持力を遠隔で点検します。^{※1}
-  万が一の災害に備え、地震時自動診断・復旧システム^{※2}や、最寄階着床バッテリー運転の毎月動作点検^{※1}が可能となります。

遠隔点検項目 (24 項目)

■ 制御盤／ブレーキ ● 電源状態 ● 制御盤温度 ● ブレーキ動作状態 ● 主回路動作状態 ● 制御盤内機器動作状態	■ 昇降路 ● 安全スイッチ・平型ロープ	■ 各階着床精度 ● 上昇時誤差 ● 下降時誤差
■ 乗場 ● 乗場ボタン動作状態 ● 乗場ドア開閉状態 ● 乗場ドアスイッチ動作状態	■ 走行状態 ● 起動状態 ● 加速状態 (偏差) ● 定格走行状態 ● 減速状態 (偏差) ● 停止状態	■ 非常連絡装置 ● インターフォン作動状態
■ かが室 ● かがボタン動作状態 ● かがドア開閉状態 ● かがドアスイッチ動作状態	■ 各階ドア状態 ● ドア開状態 ● ドア閉状態	■ かが内照明^{※3} ● 点灯状態
		■ かが内停電灯 ● 点灯状態

※1 機種によりご採用いただけない場合があります。

※2 震度 4 相当の地震時に、地震管制運転が完了し、休止しているエレベーターをサービスエンジニアの点検・復旧を待たずにエレベーター自身が自動診断運転を実施し、仮復旧運転でご利用出来るシステムです。機種によりご採用いただけない場合があります。弊社遠隔監視システムによりエレベーターの状況把握が必要ですので、弊社との保守契約時にお申しつけ下さい。ご利用には遠隔監視システムのご契約が必要です。遠隔監視システム接続後、自動診断・復旧システムは有効になります。

※3 LED 照明の場合は除きます。

日本オーチス・エレベータ株式会社について

日本オーチス・エレベータ株式会社は、米国に本社を置く、エレベーター、エスカレーター及び動く歩道に関する製品の製造及び保守修理を提供するオーチス・ワールドワイド・コーポレーションの日本法人です。エリシャ・オーチスがエレベーター落下防止装置を発明し、1853年にオーチス社が設立されました。創業以来、オーチス社は現代社会の発展に貢献すると共に、人々の生活・働き方を変え、また建築の在り方も変革してきました。今日、私たちはエレベーターおよびエスカレーターの新設・据付・保守・改修を一貫して扱う世界的リーディングカンパニーの一つです。私たちは、世界中で業界最多となる200万台以上のエレベーターとエスカレーターをメンテナンスし、毎日約20億人がオーチス社の製品を利用しています。世界の著名な建物に加え、大きな交通施設や商業施設など、「人の移動」に関わる様々な場所にオーチス社の製品が設置されています。米コネチカット州に本社を置くオーチス社は、約4万人のフィールドプロフェッショナルを含む6万9,000人の社員に支えられ、日々200を超える国と地域のお客様と利用者様の多様なニーズに応えることに務めています。詳しくは、www.otis.com/ja/jp/をご参照ください。